

## はじめに

このたびは、小形 2ch オープンコントローラ[BOC-500](以下、本器)をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございました。

このクイックリファレンス(以下、本書)は、本器の設置方法およびキー操作について説明したものです。本書をよくお読み頂き、十分理解されてからご使用くださいますようお願い致します。


また、誤った取扱いなどによる事故防止の為、本書は最終的に本器をお使いになる方のお手元に、確実に届けられるようお取り計らいください。

## ご注意

- ・本器は、記載された仕様範囲内で使用してください。  
仕様範囲外で使用した場合、火災または本器の故障の原因になります。
- ・本書に記載されている警告事項、注意事項を必ず守ってください。  
これらの警告事項、注意事項を守らなかった場合、重大な傷害や事故につながる恐れがあります。
- ・本書の記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り等お気づきのことがありましたら、お手数ですが弊社営業所または出張所までご連絡ください。
- ・本器は、パネル面に取り付けて使用することを前提に製作しています。  
使用者が電源端子等の高電圧部に近づかないような処置を最終製品側で行ってください。
- ・本書の記載内容の一部または全部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- ・本器を運用した結果の影響による損害、弊社において予測不可能な本器の欠陥による損害、その他すべての間接的損害について、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

## 安全上のご注意(ご使用前に必ずお読みください。)

安全上のご注意では、安全注意事項のランクを“警告、注意”として区分しています。

なお、 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性がありますので、記載している事柄は必ず守ってください。



### 警告

取扱いを誤った場合、危険な状況が起こりえて、人命や重大な傷害にかかわる事故の起こる可能性が想定される場合。



### 注意

取扱いを誤った場合、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および機器損傷の発生が想定される場合。



### 警告

- ・感電および火災防止の為、弊社のサービスマン以外は本器内部に触れないでください。
- ・感電、火災事故および機器故障防止の為、部品の交換は弊社のサービスマン以外は行わないでください。



### 安全に関するご注意

- ・正しく安全にお使いいただくため、ご使用前には必ず本書をよくお読みください。
- ・本器は、産業機械(オープン)に使用される事を意図しています。  
代理店または弊社に使用目的をご提示の上、正しい使い方をご確認ください。(人命にかかわる医療機器等には、ご使用にならないでください。)
- ・本器の故障や異常でシステムの重大な事故を引き起こす場合には、事故防止のため、外部に過昇温防止装置などの適切な保護装置を設置してください。  
また、定期的なメンテナンスを弊社に依頼(有償)してください。
- ・本書に記載のない条件・環境下では使用しないでください。  
本書に記載のない条件・環境下で使用された場合、物的・人的損害が発生しても、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

### 輸出貿易管理令に関するご注意

大量破壊兵器(軍사용途・軍事設備等)で使用される事がないよう、最終用途や最終客先を調査してください。

尚、再販売についても不正に輸出されないよう、十分に注意してください。

# 1. 取り付け

## 1.1 場所の選定

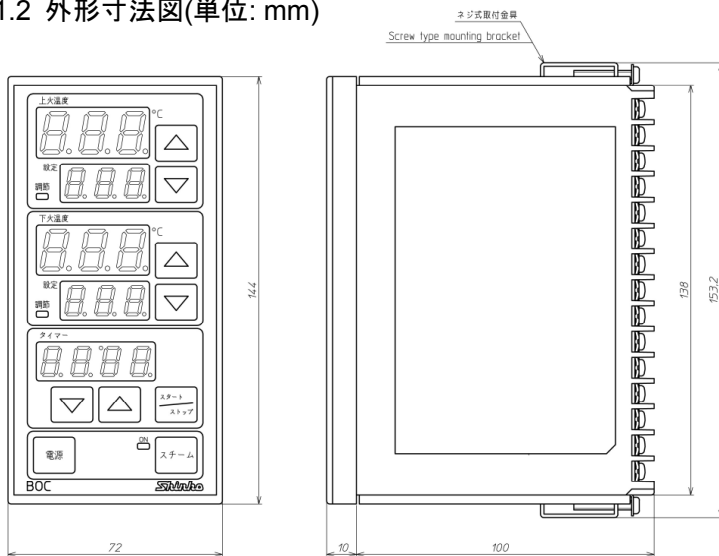
[本器は、次の環境仕様で使用されることを意図しています。(IEC61010-1)]

- ・ 過電圧カテゴリ II, 汚染度2

[本器の使用は、下記のような場所でご使用ください。]

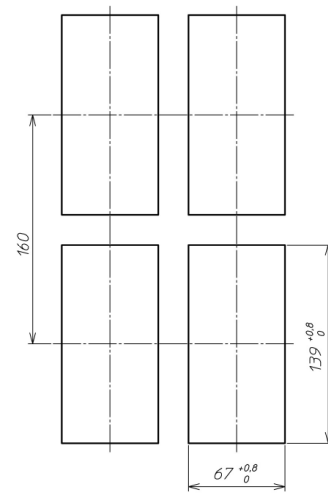
- ・ 塵埃が少なく、腐蝕性ガスのないところ。
- ・ 可燃性ガス、爆発性ガスのないところ。
- ・ 機械的振動や衝撃の少ないところ。
- ・ 直射日光が当たらず、周囲温度が0~50℃で、急激な温度変化および氷結の可能性がないところ。
- ・ 湿度が35~85%RHで、結露の可能性がないところ。
- ・ 大容量の電磁開閉器や大電流の流れている電線から離れているところ。
- ・ 水、油および薬品またはそれらの蒸気が直接あたるおそれのないところ。
- ・ 制御盤に設置する場合、制御盤の周囲温度ではなく、本器の周囲温度が50℃を超えないようにしてください。本器の電子部品(特に電解コンデンサ)の寿命を縮める恐れがあります。

## 1.2 外形寸法図(単位: mm)



(図 1.2-1)

## 1.3 パネルカット図(単位: mm)



(図 1.3-1)

## 1.4 取り付け

取り付け可能なパネルの板厚: 1~8mm

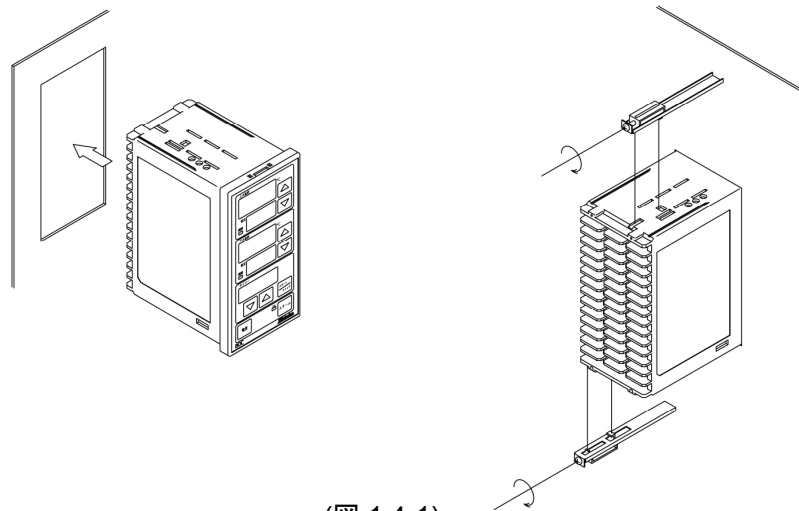
(1) 本器を、制御盤前面から挿入してください。

(2) ケース上下の穴に取付金具を引っ掛け、ねじを締めて固定してください。

### ⚠ 注意

ケースは樹脂製ですので、取付金具のねじを必要以上に締めすぎると、取付金具やケースが変形するおそれがあります。

締め付けトルクは、0.12 N・m を指定してください。



(図 1.4-1)

## 2. 配線

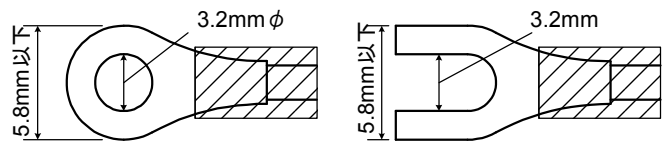
### 警告

配線等の作業を行う時は、本器への供給電源を切った状態で行ってください。  
電源を入れた状態で作業を行うと、感電の為人命や重大な傷害にかかわる事故の起こる可能性があります。  
また、本器電源を入れる前に、必ず本器の接地配線を行ってください。

#### 2.1 圧着端子について

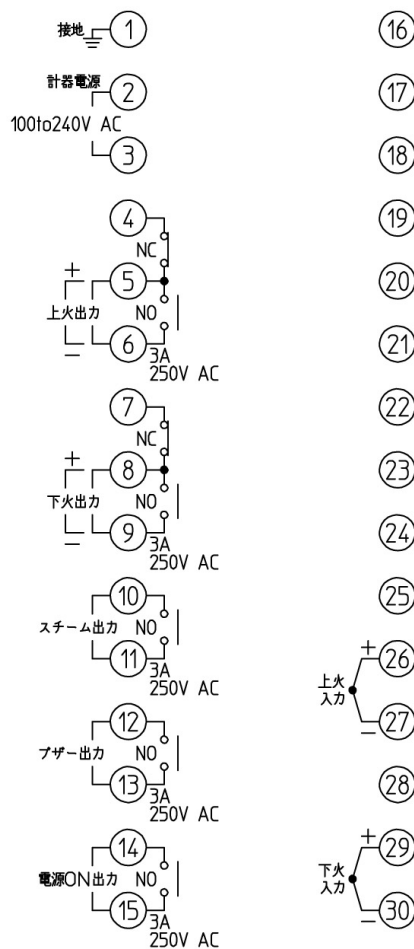
下記のような、M3のねじに適合する絶縁スリーブ付圧着端子を使用してください。  
締付トルクは0.5N・mを指定してください。

圧着端子	メーカー	形名
Y形	ニチフ端子	TMEV1.25Y-3
	日本圧着端子	VD1.25-B3A
丸形	ニチフ端子	TMEV1.25-3
	日本圧着端子	V1.25-3



(図 2.1-1)

#### 2.2 端子配列



(図 2.2-1)

### 3. キー操作フローチャート

電源投入(電源投入後、約3秒間上火温度表示器に **Loc** と表示します)

(\*1): リモート/ローカル切り替え  
 (\*2): ダイレクト操作の約2秒後、設定値を保存します。  
 (\*3): 5秒間、何も操作がなければ設定値を破棄して待機(STANDBY)モードに戻ります。

